

第2回 進路保護者会

～「自分が決める」ことへのサポート～



進路だより

通過点



流山市立おおぐろの森中学校

令和5年10月3日（火）



3年 組 番 氏名 ()

目次

1	目次
2	進路決定について、最近の入試情報
3～17	公立高等学校の入試制度
3	応募資格・学区制
4	受検できる高等学校
5	公立併願禁止
6	出願から合格までの日程、期待する生徒像
7・8	出願について
9	志願変更・希望変更
9・10	学力検査内容と日時
11	検査時間割
12	受検者心得、障害のある志願者への配慮
13	追検査について
14・15	選抜方法
16	入学許可候補者の発表及び選抜結果の通知
16・17	2次募集について
18～21	私立高等学校の入試制度
18	入試開始日、入試制度一覧
19	いろいろな推薦のちがい
20・21	推薦基準の例、推薦制度を利用した受験の場合 等
22～24	私立高等学校受験および公立高等学校受検の手続きについて
22・23	私立高等学校の出願から合格発表までの流れ
24	公立高等学校の出願から合格発表までの流れ
25・26	三者面談について
26	各書類の説明
27～	<p><各種様式></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回進路希望調査票（確認書） ・単願推薦願 ・併願推薦願 ・調査書の記載内容確認書 ・調査書 ・入学願書（昨年度版） ・志願理由書 ・自己申告書 ・志願変更願 ・希望変更願 ・追検査受検願

進路決定について

大事にしてもらいたいのは、

「なぜその進路先を選ぶのか」「本当に行きたい学校なのか」という目的意識を持つこと、一時的な感情や思い込みで選ぶものではないということを常に考えていきましょう。

進学したい学校と進学できる学校が等しいとは限りません。受験校の決定は、自分の学力を照らし合わせるだけでなく、本当に自分が進学したい学校かをしっかり見極めることが大切です。

さらに高等学校卒業後は、大学・専門学校などへの進学を目指すのか、就職する予定なのかも考慮する必要があります。高等学校で職業科や専門学科を目指す場合は、将来の目標を明らかにし、高等学校での学習内容や卒業生の進路も調べておきましょう。

受験だけで人生は決まりません。人生をより豊かにするのは、人と人との心が触れ合う日々の生活なのです。

最近の入試情報

○公立高等学校

公立入試の一本化（４年目）と ICT 機器の普及状況などによって、公立離れが進んでいます。

国の授業料支援制度などにより私立志向がここ数年顕著となっており、これが最大の要因になります。また、このコロナ禍ということもあり私立高等学校の対応が評価されたところもあります。そして公立一本化により、安全志向の高まり、あるいは私立入試から公立入試までの期間が1か月以上もあり、「早く進学を決めたい」というあせりにも似た意識が大きな要因として働いたとも言えると思います。

今年度の公立高等学校の募集定員は、県全体で7クラス分が削減となりました。近年続いている欠員の状況が背景にあると考えられます。

近隣では、「県立柏の葉高等学校」が7クラスから6クラスになったことで、募集人数が「1クラス減（40名減）」となりました。昨年1.7倍と高倍率だったことから更なる高倍率が予想されます。

○私立高等学校

近年、私立高等学校の人気が高まると同時に、国の支援金制度の影響もあり、私立高等学校を第一志望とする生徒の増加が顕著に見られます。大学の附属高等学校の人気も上昇傾向にあります。

また、私立高等学校入学者のほとんどが前期入試(推薦入試・一般入試)で入学します。昨年の後期入試(一般入試)の募集は、数校が数名募集する程度でした。

出願方法については、ほとんどの高等学校がWEB出願となってきています。家庭のPCやスマートフォンなどを使って出願します。募集要項を必ず確認し、家庭で動けるようにしてください。推薦制度を利用する際には、学校、生徒と保護者で確認しながら行う必要があります。

公立高等学校の入試制度

1. 合格したら進学する

公立高等学校の受検では、合格すればその公立高等学校に進学します。

希望上位の国立・私立高等学校に合格した時点で、中学校の校長等は、公立高等学校の志願取消・入学辞退の手続きを速やかに文書で志願先の高等学校の校長に連絡を行います。

2. 応募資格

中学校もしくはこれに準ずる学校もしくは義務教育学校を卒業した者。

または令和6年3月卒業見込みの者。

(千葉県立高等学校志願の原則：志願者が千葉県内に保護者と同居していること。)

3. 学区制度

a) 学区制について

- ・全日制・普通科 ➡ 学区制

流山市の生徒が受検可能な地域は、**第2学区・第3学区・第4学区**です。

- ・全日制以外の課程(定時制・通信制)、および専門学科・総合学科 ➡ 学区制限なし

(原則として、志願者が千葉県内に**保護者と同居**していること)

学区外や県外の公立高等学校を志願したい場合は、提出書類や申請が必要な場合もあるため 早めにご相談ください。学区となる高等学校については下記を参照してください。

※今後、引っ越しや住所変更などがある場合には、担任へ申し出てください。

b) 受検について

公立高等学校は他県を含めて、入試日が違ったとしても1校しか受検はできません。 志願した後に別の学校や学科に志願変更をすることは可能です。また、公立高等学校は日程的に1番最後の試験となりますので、原則として合格した後の入学辞退はできないとお考え下さい。

☆千葉県の学区制(流山市から通える学区)とそこにある市 - **全日制 普通科のみの制限**です。

第2学区	市川市 船橋市 松戸市 習志野市 八千代市 浦安市
◎第3学区	流山市 野田市 柏市 我孫子市 鎌ヶ谷市
第4学区	成田市 佐倉市 四街道市 八街市 印西市 白井市 富里市 印旛郡内全町

☆市内中学校から受検できる普通科・総合学科の公立高等学校（全日制）（*印 地域連携アクティブスクール）

柏市	東葛飾 県立柏 柏南 柏陵 柏中央 柏の葉 沼南 沼南高柳 市立柏		
野田市	野田中央 関宿		
流山市	流山おおたかの森 流山南 *流山北		
我孫子市	我孫子 我孫子東		
鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷 鎌ヶ谷西		
松戸市	小金(総) 松戸国際 松戸六実 県立松戸 市立松戸 松戸向陽 松戸馬橋		
市川市	国府台 国分 市川東 市川昴 市川南 *行徳		
浦安市	浦安 浦安南		
船橋市	県立船橋 薬円台 船橋東 船橋啓明 船橋芝山 船橋二和 船橋法典 船橋豊富 *船橋古和釜 船橋北 市立船橋		
八千代市	八千代 八千代東 八千代西	<総合学科> 小金(総) 幕張総合(総) 八街(総) 大原(総) 君津青葉(総) 安房拓心(総)	
習志野市・白井市	津田沼 実籾 市立習志野 白井		
千葉市	幕張総合(総・看)		
成田市・佐倉市	成田国際 成田北 佐倉 佐倉東 佐倉西		
印西市・四街道市	印旛明誠 四街道		
八街市・富里市	八街(総) 富里		

☆通学可能な専門学科の公立高等学校

流山	園芸 商業・情報処理	幕張総合	看護
流山おおたかの森	国際コミュニケーション	柏の葉	情報理数
市川工業(全・定)	(全)機械 電気 建築 インテリア (定)工業	成田国際	国際教養 英語
柏	理数	佐倉東	調理国際 服飾デザイン
清水	機械 電気 食品化学 環境化学	市立千葉	理数
市立柏	スポーツ科学	船橋	理数
市立松戸	国際人文	市立船橋	商業 体育
千葉工業	電子機械 電気 情報技術 工業技術 理数工学	松戸向陽	福祉教養
市立船橋	商業 体育	松戸国際	国際教養
市立習志野	商業	薬円台	園芸
佐倉東	調理国際 服飾デザイン	八千代	家政 体育

☆通学可能な定時制・通信制の公立高等学校（県内どこでも志願することができます。）

松戸南	普通科 三部制	佐倉南	普通科 定時制
県立船橋	総合学科 定時制	東葛飾	普通科 定時制
千葉大宮	普通科 通信制	定時制高等学校は、この他にもあります。	

4. 公立併願の禁止

① 県内・県外を問わず、他の公立高等学校を併願することはできません。併願をした場合には、入学を取り消されることとなります。

(例：千葉県の公立高等学校を受検した場合には、茨城県の公立高等学校は受検できません。)

② 隣接協定で受検可能な茨城県や埼玉県の高等学校を志望する場合や卒業後の転居などのために、学区外・県外の公立高等学校を受検する場合、所定の書類を出願時に提出し、承認を受ける必要があります。詳しいことは担任に早めに相談してください。ただし、埼玉県や茨城県の一部の学校では、隣接協定があるため、その届け出が必要のない学校もあります。

※ 国立高等学校・高等専門学校との併願は可能です。

(筑波大学附属高等学校、木更津工業高等専門学校など)

ただし、受験の日程が公立高等学校よりも早い時期になるので、公立高等学校を第一希望とする生徒は注意が必要になります。

国立高等学校・高等専門学校を受験し、合格となった場合は公立高等学校同様に入学することになります。注意してください。

5. 実施要項

(1) 出願から合格発表までの日程（令和6年）

出願書類等 受付期間 (新聞発表)	2月 6日(火) 7日(水) 8日(木)	9:00~16:30 9:00~16:30 9:00~ <u>12:00</u> 送付も <u>12:00</u> 必着
志願・希望変更 受付期間	14日(水) 15日(木)	9:00~16:30 9:00~ <u>16:00</u> 送付も <u>16:00</u> 必着
本検査1日目(国・数・英)	20日(火)	9:30~
本検査2日目(理・社・学設検)	21日(水)	9:30~
※3教科受験の場合には、1日で終わることもあります。		
追検査受検願 受付期間	26日(月) 27日(火)	9:00~16:30 9:00~ <u>12:00</u> 送付も <u>12:00</u> 必着
追検査(1日ですべて実施)	29日(木)	8:45~
入学許可候補者発表 (選抜結果を郵送でも通知)	3月 4日(月)	9:00 高等学校掲示 <未定> HP
第2次募集出願書類等受付	7日(木)	9:00~16:30 送付も <u>12:30</u> 必着
第2次募集志願・希望変更受付	8日(金)	9:00~16:30 送付も <u>16:30</u> 必着
第2次募集検査	12日(火)	9:30~
第2次募集入学許可候補者発表 (選抜結果を郵送でも通知)	14日(木)	9:00 高等学校掲示

(2) 期待する生徒像

各高等学校が定める「期待する生徒像」があります。

本人がその学校の「期待する生徒像」を確認し、面接等でなぜその学校を志願したのか、理由を明確に答えられるようにしておく必要があります。

(3) 出願について

(ア) 同一高等学校の同一課程における異なる学科については、第2希望を申し出ることができます。また、三部制の定時制の課程における異なる部（午前部、午後部及び夜間部）については、第2希望、第3希望を申し出ることができます。

(イ) 出願手続

【出願に必要な書類など】

- ① 入学願書 ② 入学検査料(収入証紙) ③ 調査書 ④ 選抜結果通知用封筒
- (⑤ 志願理由書 ⑥ 自己申告書 ⑦ 得点に倍率をかける教科の申告書)

①入学願書（+収入証紙貼付票+受験票+入学願書受理証）

- ・写真貼付欄に写真2枚（横3cm×縦4cm 正面上半身脱帽）を貼付します。
- ・収入証紙貼付票に収入証紙を貼付します。

※入学願書・・・中学校で用意します。（中学校で一斉に書きます。）

※受検用写真・・・希望者は中学校で撮影します。（集金いたします。）

→中学校で撮影の場合は、「写真4枚+データ」です。

→家庭で用意していただいても構いません。

※千葉県収入証紙・・・**個人**で購入します。（金額は以下の②に記載）

→入学願書を清書後に貼付して、中学校へ提出します。

②入学検査料（収入証紙）・・・入学願書の所定の欄に県収入証紙を貼付します。

県立高等学校（全日制の課程）	県収入証紙	2,200円
	（インターネット出願該当校は、別で説明）	
県立高等学校（定時制の課程）	県収入証紙	950円
習志野市立習志野高等学校	習志野市の納付書	2,200円
船橋市立船橋高等学校	現金	2,200円
松戸市立松戸高等学校	松戸市の納付書	2,200円
柏市立柏高等学校	原則、インターネット出願の方法	
	（上記でない場合、現金）	2,200円

※県収入証紙については、流山市役所会計課、おおたかの森市民窓口センター、流山自動車学校、流山運転免許センター、流山警察署、などで販売しています。事前にお問い合わせください。

証紙販売場所⇒



★今年度、インターネット出願を実施する高等学校一覧（来年度以降、県全体で実施予定）

<県立高等学校12校>

千葉、千葉東、船橋、東葛飾、柏、佐倉、佐原、匝瑳、成東、長生、安房、木更津

<市立高等学校3校>

千葉、稲毛、柏

③選抜結果通知用封筒（+切手）

- ・定形封筒(長形3号)の封筒に、入学志願者の住所、氏名及び郵便番号を表記します。
- ・84円切手を貼ります。(料金改定があった場合は、改定の料金の切手)
※封筒・切手・・・**個人**で準備をお願いします。

④調査書（記載内容確認書の内容で作成したものを、厳封した封筒でお渡しします。）

- ・所定の様式で、中学校が作成します。
- ・調査書は出願時に提出します。 ***皆勤は加点对象外となります。**
- ・封を開けたものは、無効となります。

⑤志願理由書

- ・志願する高等学校が提出を求める場合について、所定の様式で作成し、出願時に提出します。
- ・本人が直筆で作成します。 ⇒幕張総合高等学校（看護科）など

⑥自己申告書

- ・「欠席が多い理由」又は「障害があることによって生ずる事柄等」について説明しようとする者は、自己申告書を提出することができます。
*欠席が多いとは、年間の欠席日数が30日以上の場合です。
- ・原則として志願者本人が記入し、志願者の氏名を表記した封筒に入れ、封をした上で、中学校へ提出することを報告した後、調査書とともに志願する高等学校に提出します。
※自己申告書の提出を希望する場合は、事前に担任に申し出てください。(面談時)

(4) 志願または希望の変更について

どちらの場合にも、「志願変更願」や「希望変更願」など、定められた手続きを行い、認められた場合には変更をすることができます。(新聞発表の状況を見て1回に限り変更ができます)

(ア) 志願変更

志願した高等学校を変更したい場合には、1回に限り最初の志願を取り消して、新たに別の高等学校に志願することができます。

☞ 志願変更をする場合、新しく提出する入学願書に貼る写真を2枚用意します。

☞ 入学検査料については、

- * 「県立→県立」の場合、受検料はかかりません。
- * 「県立→市立」の場合、新たに2, 200円納入する必要があります。
- * 「市立→県立」の場合、新たに2, 200円納入する必要があります。
- * 「市立→他市立」の場合、新たに2, 200円納入する必要があります。
- * 「県立(定・通)→県立(全)」の場合、差額の県収入証紙1, 250円を購入する必要があります。

(イ) 希望変更

志願した高等学校の選抜の種類、課程や学科、部(午前部、午後部及び夜間部)を変えたい場合、1回に限り新たに希望することができます。

(5) 学力検査内容と日時

一般入学者選抜を志願する者は、選抜のための学力検査等を受検しなければなりません。第1日及び第2日の学力検査は、県下一斉に同一条件で行う。定時制の課程においては、学力検査を3教科(国・数・英)と定めることができます。

(ア) 検査を受ける場所は、志願した高等学校。

(イ) 学力検査等の期日・内容

【一般入学者選抜】

期日	教科	時間	配点
第1日 2月20日(火)	国語・数学・英語	国語・数学は各50分 英語は60分	各教科100点
第2日 2月21日(水)	理科・社会	各教科50分	各教科100点

【地域連携アクティブスクールの入学者選抜】 千葉県立流山北高等学校など

期日	教科	時間	配点
第1日 2月20日(火)	国語・数学・英語	国語・数学は各50分 英語は60分	各教科100点

注1. 国語の問題は、放送による聞き取り検査を含む。

注2. 英語の問題は、放送によるリスニングテストを含む。

(ウ) 学校設定検査の内容（県教委HPで公表済み。詳細は高等学校のHPで、10月19日(木)公表。）

各高等学校で、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題及びその他の検査からどれか一つ以上の学校設定検査が行われます。また、検査について知らせなければならない事柄は、出願時に志願者に文書で伝えられます。

(エ) 各検査の内容の概略

A 面接

学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは、一般常識等を問う検査。

B 集団討論

複数の受検者に対して、同一のテーマを与え、司会者を定めずに自由に討論をさせる検査。

C 自己表現

決められた時間内において、予め受検者が申告するなどした実施形態によって発表をさせる検査。

D 作文

指示された題名のもとに（自由に書かせることを含む。）文書を作成させる検査。

E 小論文

ある文章や資料等を与え、その全体又は一部について問い、受検者のものの考え方等をみる検査。

F 適性検査

専門学科が、その特色に応じて行う実技等の検査。各学校が指定する実施形態によって行う検査。

G 学校独自問題による検査

基礎・基本の定着をみる問題、思考力・応用力をみる問題又は教科横断的な総合問題による検査。

H その他の検査

(A)～(G)以外で、あらかじめ学校が示した方法による検査。例として、

- ・ 県が作成する思考力を問う問題
- ・ 集団に課題を与えて、活動を観察する検査（集団適性検査）
- ・ 聞き取りによる、日本語能力や基礎学力等の検査（聞き取り総合テスト）
- ・ リスニング形式による社会への関心度や一般常識をみる検査

（リスニングによる学校適性検査）

(オ) 検査時間割

【一般入学者選抜】

第1日 [2月20日(火)]		第2日 [2月21日(水)]	
時 間	検 査 等	時 間	検 査 等
9:30	集 合	9:30	集 合
9:30 ~ 9:50	受付・点呼	9:30 ~ 9:50	受付・点呼
9:50 ~ 10:05	注意事項伝達	9:50 ~ 10:05	注意事項伝達
10:15	検査室着席完了	10:15	検査室着席完了
10:20 ~ 11:10	国 語	10:20 ~ 11:10	理 科
11:35	検査室着席完了	11:35	検査室着席完了
11:40 ~ 12:30	数 学	11:40 ~ 12:30	社 会
12:30 ~ 13:15	昼食・休憩	12:30 ~ 13:15	昼食・休憩
13:20	検査室着席完了	13:25 ~	※ 学校設定検査
13:25 ~ 14:25	英 語 (60分)		
14:40 ~	※ 学校設定検査		

※学校設定検査の時間等については、各高等学校が定める。

※5教科の学力検査を実施する高等学校は、学校設定検査を第2日の13:25以降に行う。

3教科の学力検査を実施する高等学校は、学校設定検査を第1日の14:40以降、第2日の9:30以降に行う。

【地域連携アクティブスクールの入学者選抜】 千葉県立流山北高等学校など

第1日 [2月20日(火)]		第2日 [2月21日(水)]	
時 間	検 査 等	時 間	検 査 等
9:30	集 合	9:30	集 合
9:30 ~ 9:50	受付・点呼	9:30 ~ 9:50	受付・点呼
9:50 ~ 10:05	注意事項伝達	9:50 ~ 10:05	注意事項伝達
10:15	検査室着席完了	10:15	検査室着席完了
10:20 ~ 11:10	国 語	10:20 ~	※ 検査
11:35	検査室着席完了		
11:40 ~ 12:30	数 学		
12:30 ~ 13:15	昼食・休憩		
13:20	検査室着席完了	※検査は、各高等学校において定める検査を実施する。	
13:25 ~ 14:25	英 語 (60分)		
14:40 ~	※ 検査		

(6) 受検者心得

- ① 受験票を必ず持参すること。
- ② 当日、9：30までに志願した高等学校に集合すること。
ただし、学力検査を3教科と定めた高等学校が、第2日目に学校設定検査を行う場合の集合時刻については、当該高等学校が別に定める。
- ③ 筆記用具（鉛筆（シャープペンシル可）・三角定規一組（角度目盛りのないもの）・コンパス・消しゴム）、弁当及び上履きを持参すること。
ただし、下敷きは持参しないこと。
- ④ 時計を携帯する場合は、時計機能のみのものである。
(※検査室にある時計は、ほとんどの学校で撤去されます。必ず持参してください。)
- ⑤ 携帯電話等は、検査室に持ち込まないこと。
- ⑥ 検査室内では、物の貸し借りはしないこと。
- ⑦ 携帯品、その他留意事項については、学校設定検査の内容により、各高等学校において別に定めた指示に従うこと。

(7) 障害のある志願者への配慮

願書受付開始の前日までならば、障害により特別に配慮が必要な志願者は、その内容について受検に係る特別配慮申請書により、志願する高等学校の校長に申請することができます。
希望する方は早めに担任へご相談ください。(面談時)

(例) 難聴のため、国語の聞き取り検査及び英語のリスニングテストの受検が困難であると認められる生徒は、特別配慮申請書を提出することができる。(試験当日の座席配置を相談など)

(8) 追検査について

① 受検資格

感染症罹患による発熱で別室での受検も困難である等、やむを得ない理由により本検査を全部または一部受検することができなかった者が手続きを行い、志願する高等学校の校長に承認を受けた者が対象となります。

(一部受検できなかった例での注意点)

第1日の国語の聞き取りのみ受検したが早退 → 検査で陽性。
追検査では、国語以外の4教科しか受検できない。

② 必要書類

- ・ 出願時に交付された受検票
- ・ 追検査受検願
- ・ 医師の診断書(加療期間が明記されたもの)
(または本検査不受検理由証明書)

③ 検査の内容

- ・ 5教科または3教科の学力検査。
- ・ 学校設定検査の実施は、高等学校ごとの裁量となります。

※検査に係る周知すべき事項がある場合には、追検査出願時に文書で示されます。

④ 追検査受検に必要な手続き

* 追検査志願者の連絡

追検査を志願する者の在籍する中学校の校長等は、追検査受検願等の提出期間の前日までに、当該志願者の志願した高等学校の校長に電話により連絡しなければなりません。

* 追検査受検願等の提出期間及び受付時間

令和6年2月26日(月) 9:00～16:30
及び 2月27日(火) 9:00～12:00

* 提出書類及び提出先

追検査を志願する者は、出願時に交付された受検票、追検査受検願及び本検査を受検することができなかった理由を証明する書類として医師の診断書(加療期間が明記されたもの)を提出します。ただし、医師の診断書を提出できない場合には、在籍中学校の校長が作成した本検査不受検理由証明書を、在籍中学校の校長の確認を経て、志願した高等学校の校長に提出します。

* 追検査受検承認書等の交付

高等学校の校長は、追検査受検願等の受理が完了した後、受理証とともに、追検査受検承認書を交付します。出願時に交付された受検票は、志願者に返却します。

⑤ 検査時間割（追検査）

〔2月29日(木)〕 ※5 教科学力検査実施校		〔2月29日(木)〕 ※3 教科学力検査実施校 ※地域連携アクティブスクールも	
時 間	検 査 等	時 間	検 査 等
8:45	集 合	8:45	集 合
8:45 ~ 8:50	受付・点呼	8:45 ~ 8:50	受付・点呼
8:50 ~ 9:00	注意事項伝達	8:50 ~ 9:00	注意事項伝達
9:05	検査室着席完了	9:05	検査室着席完了
9:10 ~ 10:00	国 語	9:10 ~ 10:00	国 語
10:10	検査室着席完了	10:10	検査室着席完了
10:15 ~ 11:05	数 学	10:15 ~ 11:05	数 学
11:15	検査室着席完了	11:15	検査室着席完了
11:20 ~ 12:20	英 語 (60分)	11:20 ~ 12:20	英 語 (60分)
12:20 ~ 13:00	昼食・休憩	12:20 ~ 13:00	昼食・休憩
13:05	検査室着席完了	13:05 ~	※ 学校設定検査
13:10 ~ 14:00	理 科		
14:10	検査室着席完了		
14:15 ~ 15:05	社 会		
15:20 ~	※ 学校設定検査		

※追検査での学校設定検査の実施については学校ごとの裁量になる。

(9) 選抜方法（要項より）

- ① 調査書等の書類の審査、学力検査の成績及び学校設定検査の結果を選抜の資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。選抜の資料のいずれかにおいて、各高等学校が審議の対象とすると定めた評価等を有する者については、特に慎重に審議する。
- ② 調査書の必修教科の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項、学力検査の成績、学校設定検査の結果等の選抜の資料は原則として得点（数値）化するものとし、選抜のための各資料の得点を合計した「総得点」に基づき総合的に判定する。 選抜資料の配点は各高等学校において定められる。

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	全学年の評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点 理数に関する学科(数学・理科) 国際関係に関する学科(英語) 1. 5倍又は2倍可 ○○○点	135点 × K K=0.5~2 原則1 △△△点	0~50点 県大会出場など 英検・漢検など 生徒会役員など □□点	1検査 …10点~100点 2検査以上…上限150点 * 適性検査2つ以上+面接実施の場合 面接50点まで、合計得点の上限は200点 ◇◇点	◎◎◎点

- ③ 調査書、学力検査の成績及び学校設定検査の結果については、次の(ア)、(イ)及び(ウ)によるものとする。

- (ア) 調査書については次の i、iiにより得点化する。
- i 調査書の教科の学習の記録における、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の評定の全学年の合計値について、各高等学校の定めるKの数値を乗じ、「調査書の得点」とする。Kの数値は、原則として1とし、各高等学校において学校の特色に応じて0.5以上2以下の範囲内で別に定める。
 - ii 調査書の記載事項について、各高等学校は学校の特色に応じて50点を上限として、「調査書の得点」に加点することができる。
- (イ) 学力検査の成績については、各教科の得点を合計し、「学力検査の得点」とする。
- ※ 理数に関する学科を志望する者については、学力検査の数学及び理科の得点を1.5倍又は2倍した値をそれぞれ数学及び理科の得点とみなす。国際関係に関する学科を志望する者については、学力検査の英語の得点を1.5倍又は2倍した値を英語の得点とみなす。
 - ※ 定時制で学力検査を5教科に定めた高等学校は、5教科のうち、志願者が出願時に申告した3教科の得点を1～3倍した値を得点とみなすことができる。
- (ウ) 学校設定検査の結果については、次の i、iiにより得点化する。
- i 「学校設定検査の得点」の配点は、各高等学校が学校の特色に応じて100点以上1000点以下の範囲で定める。
 - ii 学校設定検査を2つ以上実施する場合には、学校設定検査の合計得点は1500点を上限とする。なお、専門学科において適性検査を2つ以上実施する高等学校が、さらに面接を実施する場合には、面接の配点は50点を上限とし、学校設定検査の合計得点は2000点を超えないものとする。

- ④ 「欠席が多い理由(年間30日以上)」又は「障害があることによって生ずる事柄等」について説明するために、志願者から自己申告書が提出された場合は、これを選抜の資料に加えることができる。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることのないよう十分に留意する。
- ⑤ 入学者の選抜方法は、上記のほかに学校の特色を重視した、2段階の選抜を行うことができる。

- i 2段階の選抜を行う場合、2段階目で選抜する入学者の人数は、募集人員の20%以下とする。
- ii 2段階目の選抜では、1段階目で得点化した「調査書の得点」、「学校設定検査の得点」及び「学力検査の得点」に、次の k1、k2、k3及びk4の数値を乗じた得点を、選抜の資料とすることができる。

- k1・・・調査書の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値に乘じる係数
- k2・・・調査書の記載事項の加点に乘じる係数
- k3・・・学校設定検査の得点に乘じる係数
- k4・・・学力検査の合計得点に乘じる係数

なお、k1、k2及びk3の数値は、それぞれ1以上とし、k4の数値は、1以上1.5以下とし、各高等学校が定める。

- ⑥ 各高等学校の選抜・評価方法は、令和5年10月19日（木）から各高等学校のウェブページにおいて公表されます。

(10) **入学許可候補者**の発表及び選抜結果の通知

- * 選抜結果については、本検査及び追検査の結果を併せて、高等学校の校長が、令和6年3月4日(月)午前9時に各高等学校において掲示により入学許可候補者の受検番号を発表します。
また、選抜結果を志願者本人あてに通知します。
なお、入学許可候補者のウェブページ掲載については、詳細を別に定めます。（未定）

(11) 第2次募集について

入学許可候補者の数が募集定員に満たない場合、第2次募集を行う。定時制の第2次募集も、入学許可候補者の数が募集定員に満たない場合だけ実施されます。

※第2次募集を実施する高等学校は限られます。

- * 3月4日（月）午前9時の合格発表後、実施する学校が決定します。例年、翌日の新聞朝刊で発表があります。

(ア) 応募資格

次の（１）、（２）に該当しない者

- （１）令和6年度公立高等学校入学許可候補者となっている者
- （２）千葉県内に所在する私立高等学校の令和6年度入学許可候補者のうち、当該私立高等学校長から第2次募集に応募してよい旨の承認を得ていない者。

(イ) 出願手続き

【出願に必要な書類など】

- ① 入学願書 ② 入学検査料(収入証紙) ③ 誓約書 ④ 選抜結果通知用封筒
④ 調査書 (⑤ 志願理由書 ⑥ 自己申告書 ⑦ 承認書)

*応募資格を満たしていることを証明する③誓約書

*私立高等学校に併願合格した場合、出願を承認したことを認める⑦承認書(私立高等学校側)
・自己申告書の提出を希望する場合は、早めに担任に申し出てください。

(ウ) 入学願書の交付

- ・3月4日(月)以降、実施する高等学校、千葉県教育庁東葛飾教育事務所で交付されます。
入学願書は、受検志願者が志願する高等学校に取りに行きます。

(エ) 出願から合格発表までの日程

入学許可候補者発表	3月4日(月)	9:00
第2次募集出願書類等受付	7日(木)	9:00~16:30 送付も16:30必着
第2次募集志願・希望変更受付	8日(金)	9:00~16:30 送付も16:30必着
第2次募集検査	12日(火)	9:30~
第2次募集入学許可候補者発表 (選抜結果を郵送でも通知)	14日(木)	9:00 高等学校掲示

(オ) 学力検査内容

- ・全ての高等学校で面接を実施します。
- ・集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及び、その他の検査のうちから一つ選び実施します。

(カ) 検査時間割

[3月12日(火)]	
時間	検査等
9:30	集合
9:30 ~ 9:40	受付・点呼
9:40 ~ 9:55	注意事項伝達
10:10 ~	※ 検査

※ 検査の時間等については、各高等学校が別に定めます。

(キ) 入学許可候補者の発表及び選抜結果の通知

*選抜結果については、本検査及び追検査の結果を併せて、高等学校の校長が、令和6年3月14日(木)午前9時に各高等学校において掲示により入学許可候補者の受検番号を発表します。また、選抜結果を志願者本人あてに通知します。

ウェブサイトによる発表は予定されていません。

私立高等学校の入試制度

私立高等学校では、独自の推薦要件を設定し、推薦枠を大きくとる学校があります。推薦には、単願推薦・併願推薦・自己推薦などがあります。最近では、単願推薦→A推薦、併願推薦→B推薦、併願自己推薦→C推薦と呼ぶ学校も多くあります。ですが、同じ名称でも学校によって内容が異なることがあり、十分な確認が必要です。後期入試は、補充募集の要素が強くなり、後期入試(一般入試)を実施しない学校もあります。

学力基準(内申点)等の要件が定められており、その基準を満たし、中学校長の推薦がもらえる者が対象となります。高等学校ごとに基準が設けられているので、各私立高等学校の実施要項で確認することができます。

(1) 私立高等学校入試開始日

	前期(推薦)入試	後期(一般)入試
千葉県私立高等学校	1月17日～	2月15日～
東京都私立高等学校	1月22日～	2月10日～
茨城県私立高等学校	1月9日～	1月15日～
埼玉県私立高等学校	1月22日～	2月1日～

* 推薦制度が複雑化しています。出願期間も早まっており、11月から始動することもあります。私立高等学校の受験を考えている生徒は、各私立高等学校の募集要項を熟読し、日程をよく確認しておく必要があります。

(2) 入試制度一覧

	推薦入試	一般入試	
第1希望	*「A推薦」(単願推薦) *学校推薦 *自己推薦	*「(一般)単願」	*一般受験
第2希望以下	*「B推薦」(併願推薦)	*一般受験(併願)	

(ア)『単願』：第1希望で受験することを単願といいます。(専願とも言われます。)

「その私立高等学校を第1希望にしているから、合格したら必ず入学します。」という意思表示をして受験します。

(イ)『併願』：第2希望または第3希望以下で受験することを併願といいます。

「第1希望は公立高等学校または別の私立高等学校であるが、第1希望や第2希望以下の学校が不合格の時、その私立高等学校に入学する」という意思表示をして受験します。

(ウ)『学校推薦』：学校を代表し、私立高等学校が提示する【推薦基準】に達している生徒を在籍中学校長の責任で推薦するときの言葉です。各校1名などの指定が中学校にきます。

(エ)『自己推薦』：在籍中学校長の推薦を必要としない制度です。私立高等学校が中学校に提示した【推薦基準】に達していないけれども、高等学校側にアピールできる資格などを備えている生徒が、独自に応募するやり方を表す言葉です。

(オ)『部活動推薦』：運動能力や実績に優れ、高等学校の部活動顧問の推薦があり、中学校長がふさわしいと認める生徒が対象となります。高等学校に入学してからも3年間、その部活動が続けることが前提になるので、慎重に考えていく必要があります。

(3) いろいろな推薦のちがい

①「単願推薦」

志願する動機などが明確であり、その高等学校を第1希望としている生徒を優先的に入学させるための制度です。合格すれば必ずそこへ入学することが求められます。また、ほとんどの場合【推薦基準】が設けられており、事前に中学校と高等学校側が直接、確認する「入試相談」で承認されて「推薦扱い」の受験になります。推薦基準を満たしていないと「推薦扱い」での受験はできません。「スポーツ推薦・学力推薦・人物推薦」などが代表的です。

「スポーツ推薦」は、運動能力に優れ、高等学校の部活動顧問の推薦があり、中学校長がふさわしいと認める生徒が対象となります。中学校の部活動での活躍・成績（学力なども含む）が基準になります。高等学校に入学してからも3年間、その部活動を続けることが前提になるので、慎重にすすめる必要があります。要確認です。

②「(一般)単願」

「私立高等学校を第1希望で受験します」という意思表示での受験を行うと、学校によっては入試で優遇されることがあり、合格すれば必ずその私立高等学校へ入学します。

単願の意思表示の方法として、「願書に記入する」「面接で伝える」などがあります。一部の私立高等学校では(一般)単願にも【基準】があります。

③「併願推薦」

その私立高等学校を第2希望または第3希望以下でも、推薦扱いになる制度です。併願推薦にも【推薦基準】があります。一般受験より優遇されます。

この場合、希望上位の高等学校に合格すればそちらの高等学校に進学してもかまいません。他の私立の前期入試での合格が先に決まっても、併願推薦扱いになった高等学校に出願したり、試験を受けたりしなければならない私立高等学校もあります。(受験料を納めなくてはなりません)

併願推薦といっても、その内容は私立高等学校により異なります。受験校に制約を受けることもあるので、自分の希望する私立高等学校の「併願推薦」が次のどのタイプなのかを知っておく必要があります。(詳しくは、各高等学校の実施要項で確認してください。また、担任にもご相談ください。)

- | |
|--|
| ア 『第1希望を公立高等学校に限定し、その高等学校を第2希望か第3希望まで』の場合に限られているタイプ。通称「公立併願」 |
| イ 『第1希望は公立・私立のどちらでもよいが、その高等学校を第2希望か第3希望まで』の場合に限られているタイプ。通称「公私併願」 |
| ウ 特に制限がなく、その私立高等学校が第△希望でもよいタイプ。
(現在、最も多く主流なタイプ) |

志願する私立高等学校が上記のウに該当すれば、受験数制限はなく、日程に注意して複数校受験することができます。

(4) 推薦基準の例

【推薦基準】は、10月中旬頃までに各私立高等学校から提示されます。また、募集要項に明記されている学校もあります。内容は、成績（評定）と欠席日数、人物に関することが主ですが、各高等学校が独自に設定しています。

「人物優秀で中学校長が推薦する者」という項目を設定する高等学校が多いです。

最近の私立高等学校の人気を受けて、各高等学校では推薦基準の引き上げや加点項目の削減などが施され、推薦入試の基準などが厳しくなりつつあります。

成績の基準（例）		欠席日数の条件
3年の1学期 or 2学期、または通算【5段階評価】		欠席：3年間で15日以内。 遅刻、早退は2回で欠席1日として計算する。
単願推薦（A推薦）	5科：21以上 9科：38以上	
（一般）単願	／	
併願推薦（B推薦）	5科：23以上	
3年間でどの教科にも「1」がないこと		

※ 一般的に「単願推薦」の基準よりも「併願推薦」の基準のほうが高くなります。

※ 多少不足していても、英検3級や漢検3級などの資格や特技を考慮して加点する学校もあります。（記載内容確認書にて、資格などの確認を行います。）

(5) 推薦制度を利用した受験の場合

推薦制度を利用して高等学校を受験しようとする場合、次の手続きを行います。

- ① 三者面談時に本人、保護者から「推薦制度で受験したい」という旨を担任に申し出て、「単願推薦願（桃色）」「併願推薦願（浅黄色）」を期限内に提出します。

* 三者面談時に、担任が希望高等学校の推薦条件を本人、保護者と確認します。

* 全校進路検討会で検討した後、再度本人、保護者の意思を確認します。

* 検討会での検討事項について

（ア）おおぐろの森中学校として、学校長が推薦できる生徒であるか。

（イ）本人の志望動機、理由が明確で適切であるか。

（ウ）本人の志望校に対する能力、適性があるか。

（エ）志望校が別に定める要件に適合しているか。

- ② 推薦できる人数が限定されている推薦の場合

その高等学校を第一希望とし、推薦を希望する生徒が複数いる場合は、学年で総合的に検討し、最終的に校長が判断します。

- ③ 自己推薦については、三者面談や文書を通して、担任が本人・保護者から確認します。

※ 慎重を要する件ですので、「進路希望調査」や「推薦願」等の文書によって推薦受験の希望を確認していきます。その後、私立高等学校側に連絡して入試相談を行い、【推薦基準】を満たしているか確認の審査を受けて決定（出願資格を得る）されます。埼玉県などは入試相談の制度がない私立高等学校もあります。その場合は生徒が高等学校に出向き、入試相談を受ける学校もあります。

(6) 私立高等学校推薦入試の可否の目安

私立高等学校の推薦入試の可否は、高等学校ごとに異なりますが、一般的に入試相談がある高等学校では、そこで推薦入試の出願資格を得られれば、合格の可能性が高くなります。

ただ、学科試験で著しく低い点数を取ったり、(相応の点数が取れなかったり)、面接で特に悪い印象を与えたりすると、下位推薦へのスライド合格や不合格になることもあります。推薦入試は合格の可能性が高くなりますが、合格が100%保証されるわけではありません。

(7) 私立の一般入試について

特別な連絡や相談なしに、受験することを「一般受験」または「フリー受験」といいます。推薦制度そのものがない学校、あってもその【基準】に受験者が達していない場合です。当日のテストの結果が可否に大きく影響します。

推薦受験を実施する高等学校では、一般受験の合格者枠が極めて少ない傾向にあります。

(8) 制度の選択は慎重に

推薦などの受験は、たいへん有利な制度ですので、毎年多くの生徒が推薦入試を希望しています。希望する私立高等学校があれば学校案内を取り寄せたり、高等学校の学校説明会や入試説明会に参加したりすることが望まれます。「入学後に後悔しない」高等学校を見つけることが、何より大切なことです。

また、推薦制度は一般受験に比べて受験のチャンスが制限されることもあるほか、単願推薦や第1希望扱いで合格した場合は、入学辞退はできないので、きちんとした決断が必要になります。推薦制度を利用する場合の受験校決定には、一般の受験以上に慎重に判断していく必要があります。

(9) 志望校の決定

三者面談等終了後に志願する高等学校を確定いたします。提出済みの「第4回進路希望調査票」と変更が生じた際には、速やかに新たに「第4回進路希望調査票」を提出していただきます。

(※ 生徒が保護者と十分に確認し合った上で、ご記入をお願いします。)

※ 志望校の希望順位は厳密に考え、希望順位にしたがって記入してください。

※ 希望順位を変更する場合も新たに提出をお願いします。

※ 詳細は、進路だよりまたは三者面談にてお知らせします。

私立高等学校受験および公立高等学校受検の手続きについて

(1) 私立高等学校の出願から合格発表までの流れ

手順	手 続 き	詳 細
1	募集要項などの書類の入手	<ul style="list-style-type: none"> 書類に関しては、原則として各家庭で準備をします。 (遅くとも11月までに準備をしてください。) WEB出願が基本となっています。生徒募集要項を入手し、推薦規準や出願方法、必要書類の確認をしてください。 高等学校をまだ訪問できていないのであれば、説明会等で配付されることが多いので、直接取りに行くことをお勧めします。 募集要項は有料の学校もあります。オンラインで説明会等を行う学校も予想されますので、入手方法の確認をお願いします。
2	入試相談 (11月下旬～12月中旬) <small>※入試相談を実施している学校のみ</small>	<ul style="list-style-type: none"> 「推薦願」の提出を期限内に行ってください。 推薦入試を希望する場合には、中学校の教員が高等学校へ入試相談に行きます。 入試相談にて、推薦受験の可否が決定します。
 以下、WEB出願バージョン  (例)		
3	WEB出願① 出願情報入力等準備期間	<ul style="list-style-type: none"> 各高等学校HPより、必要情報の入力を行います。 入試(受験)区分や志願者情報、試験の選択等があります。 (顔写真のデータも中学校での撮影で入手可能。) 入試(受験)区分では、単願推薦なのか併願推薦なのかの選択になります。<u>例年、この選択を間違える事案が多くなっていますので、十分な確認をした後に、登録をしてください。</u> ★入試相談がある場合、相談後に入試(受験)区分が確定します。 ※ 一時保存後 (<u>保存して中断する</u>を押す)、印刷をし、学校に提出をしてください。<u>絶対にお支払い画面へを押さない!間違っても入金してしまっても返金はされません。</u>
4	WEB出願② 出願登録受験料払込期間	<p>① 既定の期日以降に受験料の支払いを行えるようになります。WEB出願①のページより「お支払い画面へ」を選択し、受験料の支払いを行ってください。受験料の支払い方法も様々です。</p> <p>② 支払い後、支払い完了メールが届きます。</p>
	WEB出願③ 出願書類郵送期間	<p>③ 「マイページ」より、受験票・写真票・宛名票をダウンロードし、白紙(A4版1ページ)に印刷をします。</p> <p>④ 受験票・写真票に写真を貼ります。</p> <p>⑤ <u>その状態で切り取らずに学校に提出をします。</u></p> <p>⑥ 受験番号等確認後、受験票は返却をします。</p> <p>⑦ 必要書類を封筒に入れ、返却をします。(受験票は当日まで保管)</p> <p>⑧ 各家庭で、期日までに提出をします。(郵送・窓口の選択) 期日を確認し、遅れないよう注意してください。</p>

👉 以下、通常出願バージョン 👉 (例)	
3	願書記入 <ul style="list-style-type: none"> ・願書の記入は、原則として本人が記入します。清書は黒のボールペンで行います。願書は本人が記入した後、必ず保護者が確認してください。 ・個人で入手した願書は、一度必ず担任に提出し、要項の情報を共有してください。担任が調査書の種類や記入方法等を確認します。 ・願書用写真を準備します。学校によって、大きさ、枚数が異なります。各高等学校の募集要項で確認してください。 ・写真は、希望者に限り、中学校で撮影し、写真4枚とデータとともにお渡しします。
4	出願手続き <ul style="list-style-type: none"> ・個人（本人または保護者）で出願になります。 ・生徒が平日に窓口出願する場合は、担任へ相談してください。 ・受験票は担任に提示（受験番号を中学校で控えます）後、本人が保管します。調査書受理書は、担任に提出します。 <p>※ <u>確実に受験する学校であると決定してから、受験料の振り込みを行ってください。一度振り込んだ受験料は、返金はされません。担任と確認後、手続きを進めてください。</u></p>
👉 共通 👉	
5	試験当日 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭より、直接受験校に行きます。 ・受験が終了し、帰宅後に学校へ電話連絡をします。 ・試験日までに、試験当日の流れについて「事前確認」をします。当日の受験校までの交通機関・時刻・交通費等につきましては、各家庭で事前調査をし、準備をお願いします。 ・試験終了後も<u>受験票は大事に保管</u>をしてください。合格書類の受け渡しの際に必要です。
6	発表 <ul style="list-style-type: none"> ・本人または保護者が確認をします。 ただし、可否結果が中学校に郵送される場合には、担任から学校で結果を伝えます。 ・個人で発表を確認した場合、可否に関わらず担任に報告します。
7	入学手続き <ul style="list-style-type: none"> ・<u>入学手続きに関しては各家庭の責任でおこなってください。</u> ・単願と併願で手続きの期限が違います。また、手続きにおいて、入学金の振り込みや延納金の振り込みが必要な学校もあります。漏れ落ちのないよう、十分に確認をしてください。 期限内に手続きが行われない場合には、合格が取消になります。
<ul style="list-style-type: none"> ・複数の高等学校に合格した場合は、希望順位の低い学校への出願取り消しや、受験取り消しの手続きが必要となる場合もあります。 ・単願受験で合格した場合には、その高等学校への入学が条件となっていますので、その後の他の私立や公立の受験はできません。 	

※プリンターがない・ネット環境がない家庭は、出願する高等学校へ連絡し、ご相談ください。

(2) 公立高等学校の出願から合格発表までの流れ

※インターネット出願については、別でお知らせします。

1	出願書類の入手	・入学願書は、中学校で用意をします。
2	願書の記入 *保護者印の廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・記入方法は中学校で確認します。 ・願書の記入は、原則として本人が記入します。 ・清書は黒のボールペンで、楷書で記入します。 ・学校で記入後、確認して返却します。必ず保護者が確認して<u>願書に署名</u>をして、収入証紙を貼付後、再度学校に提出をします。 (志願校の最終確認) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>願書下書き → 点検 → 清書 → 保護者確認・署名 → 収入証紙の貼付(市立高等学校は異なる) → 願書完成 → 中学校へ提出 → 受検校の確認 → 返却・配付(願書・調査書) → 出願(窓口 or 簡易書留郵送)</p> </div>
3	出願手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として本人が行います。(場合によっては保護者も可。) 窓口出願は、出願日に各高等学校へ行き出願し、その後学校へ戻ります。(受理証を中学校へ提出します。) ・郵送での出願が可能です。郵送の場合には、時間内に必着となるので注意が必要です。日時指定での郵送(簡易書留)をお願いします。(受理証の確認方法は、通知され次第お知らせします)
4	検査当日	・私立の場合と同様です。
5	発表	<p>★令和6年3月4日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前9時より、志願した高等学校へ本人または保護者が行って確認をします。合格者は配付資料を受け取ります。 ・本校職員も、午前9時の各高等学校のHPで確認予定です。 ・合否確認後、生徒は指定する時間に集合し、手続きや進路の確認をします。

<インターネット出願の概要について> 「miraicompass(ミライコンパス)を利用」

★高等学校が、12月下旬にHPに「出願登録サイト」と「作業マニュアル」のURLを掲載。

流れ	内容
① 志願者情報の入力	・志願者情報を入力し、中学校へ提出します。
② 検査料納付	・検査料を納付します。(クレジットカード、コンビニ、ATMなど)
③ 入学願書を印刷	・入学願書をプリンターで印刷し、中学校へ提出します。
④ 志願する高等学校へ郵送	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校から受け取った入学願書や調査書等の必要書類を郵送します。 *配達日指定(出願日の初日)での郵送(簡易書留)
⑤ 受検票・受理証を印刷	・プリンターで印刷します。
⑥ 受検	受検票を必ず持参して受検します。

三者面談について

これまでの進路希望調査や実力テスト、中間テスト、内申点、10月に行う生徒との二者面談、第4回進路希望調査票、10/5の実力テスト④を基に、希望する学校や入試(受験)区分(推薦・一般など)の確認・決定を行っていきます。三者面談の案内と日程調整につきましては、手紙にて配付いたします。

期 間： 11月2日(木)～11月15日(水)

13:40～16:40頃を予定しています。

ご調整よろしくお願いたします。

この期間、生徒は午前中4時間授業+給食で下校になります。

面談があつて残る生徒は、3年教室で自習しても構いません。

時 間： 各家庭20分～30分程度を予定

場 所： 各教室

内 容： 受験校について・調査書の記載内容の確認等を行わせていただきます。

(1) 三者面談に向けて

三者面談は、本人、保護者及び担任によって行われる進路決定のための話し合いの場です。ここでは第4回進路希望調査をもとに、公立高等学校や私立高等学校・専修学校などの第1希望や併願校など実際に受験する学校を検討し、決定していきます。

高等学校進学においては、特に私立高等学校を第1希望とする場合、この三者面談で決定した志望校を、変更することのないように十分に事前の話し合いをお願いします。また、私立高等学校の推薦を希望する場合は、事前に高等学校側と相談する期間(入試相談)がありますので、遅くとも11月中には高等学校を決定する必要があります。出願も早いところでは12月上旬からという高等学校があります。もし変更になった場合は、すぐに担任に相談してください。入試相談後の取り消しは原則できないと考えてください。

公立高等学校を第1希望に考えている場合も、この面談で受検する高等学校を十分に絞り込んでください。(状況によっては、願書提出期限までは変更可能です。まだ決定できないという場合は、面談時に1番受検する可能性の高い志望校を伝えてください。)担任が生徒の志望校を確実に把握する機会であり、その後の準備計画を進める第一段階となるので進路希望確認書提出後の変更は手続きの遅れにつながります。三者面談の前に、ご家庭で十分な話し合いをされてから、この面談に臨んでいただきたいと思います。

(2) 担任の役割

質問等に可能な限りお答えしていきたいと考えています。実力テストや内申点、学校での生活を踏まえ、三者面談に臨みます。質問や相談したいことにつきましては、事前に行う第4回進路希望調査に書いていただけると、限られた時間で円滑な面談を行えるかと思えます。

また、担任からの話は、本校の資料やデータに基づく参考資料として考えてください。担任からは「この学校を受験しなさい」「この学校は受験するな」ということは言いません。最終的な受験校の決定は各家庭の判断をお願いします。

(3) 進路検討会

三者面談時に、「推薦願」を配付します。提出された書類を基に、中学校全体で進路検討会を行います。後日、進路検討会で協議・検討した内容を伝えます。状況に応じて、保護者の方にも連絡をいたします。

各書類の説明

(1) 第4回進路希望調査票（確認書）

三者面談前に配付・回収をします。最終的な受験校の決定になります。この「第4回進路希望調査票」に記載された高等学校に受験をすると判断し、書類の作成を開始していきます。**この記載内容は、三者面談をもって確定となります。**

私立高等学校は年内に出願が多いこともあり、提出後の変更はしませんが、公立高等学校の受検まで時間があるため、受検校の変更があるかもしれません。もし、変更がある場合には、担任に申し出ていただき、新たに提出していただきます。

口頭でのやりとりが重大なミスを起こす可能性があるため、これまで同様、書類でのやりとりとさせていただきます。よろしくをお願いします。

(2) 推薦願（「単願推薦願」・「併願推薦願」）

単願推薦や併願推薦での私立高等学校の受験を希望する場合には、「推薦願」を提出していただきます。この届出をもって、進路検討会を実施し、入試相談へと進んでいきます。

私立高等学校や推薦受験を行わない場合には、この届出は必要ありません。

※ 茨城県の私立高等学校については、受験時期が千葉県より早いため、前倒しすることがあります。

(3) 記載内容確認書

記載内容をよりと正しいものするための取り組みとして、記載内容確認書を配付し、進路に関わる数値や記録等を事前に生徒と保護者の方に確認をしていただきます。各教科の評定や欠席日数、各種活動、表彰・検定等になります。家庭にて確認後、署名し学校に提出してください。

記載事項のミスにより、本人が受験時に不利益になってしまうことを防ぐためです。ご家庭で保管している通知票で、1・2年生の時のものを含め、十分な確認をよろしくをお願いします。（記載内容確認書の確認についてのお知らせ・詳細は、記載内容確認書と同時に配布します。）

(4) WEB出願（インターネット出願）

各高等学校(多くの私立高等学校・一部の公立高等学校)のHPより行うことができます。11月から個人情報の登録等を行うことができますようになります。受験料の支払い前の段階までです。受験料の支払いが可能になるのは、学校ごとに時期が違いますので、募集要項での確認をお願いします。

また、例年入試(受験)区分の登録での間違いが多いとのこと。受験料の支払い前であれば訂正をすることが可能ですが、受験料の支払いを済ませてしまうと変更ができなくなってしまいますので、ご注意ください。

特に推薦での入試(受験)区分が確定するのは、入試相談後になります。WEB出願は家庭での作業となりますので、お間違いのないようよろしくお願いします。

(5) 出願書類のとりまとめ

出願を行うために必要な、願書、受験票、推薦書、調査書、封筒等の受験校が定めた出願書類の点検と確認を、中学校にて確認する作業のことを指します。

私立高等学校(推薦受験制度有の学校)においては、入試相談等が終わり、担任から入試(受験)区分の報告がありましたら、受験料の支払い等を早めに行ってください。WEB出願では、決済が完了すると受験票の印刷が可能になります。特に茨城県の私立高等学校に関しては、年内に郵送しなければならない、もしくは年明けすぐに郵送をしなければならない高等学校も多くあります。また、都道府県や入試(受験)区分でも出願期間は違ってきます。中学校でも確認し取り組んでいきますが、各家庭でも受験する高等学校の出願期限や出願方法については十分な確認をお願いします。

出願書類に関しましては、学校で確認後、封をして返却をします。期限内に指定された方法での郵送・窓口出願を忘れずに行ってください。